IRAGOMISAKI-EMS 6 CLASS-LETTER

６年生新聞（仮）

発行所　伊良湖岬小学校
目指そう、みさきえがお！
発効日　2020年
5月(皐月MAY) -21日
～ Vol. 04-2 ～

自分が考えているのは、ずっと家にいるので、ひまだなということです。クラスのみんなと会いたいです。なかなかみんなに会うことができなくて、さみしいです。

でも、料理ができるようになりました。おなかがすいたときに、かんたんな卵料理を作りました。大そうじも、お父さんとお母さんと一緒にしました。

みんなとの思い出作りについて考えています。

ビデオや写真などで、授業の様子や、日々のネタなど小学校での思い出をもっと作っていけたらと思います。感動も、おもしろさもアルバムにできたらとてもいいと思います。六送会のビデオがとても好きで、「自分たちのも早く見てみたい」と思い、アイデアも提案してみようと考えています。

勉強がどうなるか不安です。このままだと、勉強についていけなくなってしまいそうで心配です。夏休みが少なくなるのなら、そこでがんばろうと考えました。

このままコロナウイルスのせいで学校が一年間なくなってしまうかもしれません。ワクチンがいつできるかもわからないので、自分自身がしっかり気を付けて手洗い、うがい、マスクをし、三密をさけます。

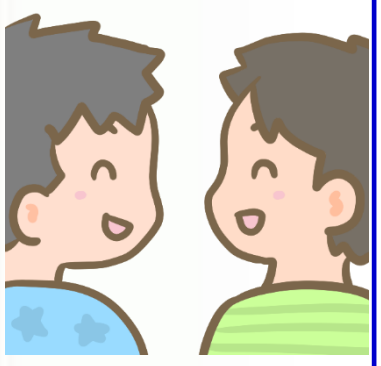
コロナウイルスがどこにあるのかは分からないから、心配です。春には収まってほしいです。休みが多すぎるから、勉強をすごくがんばろうと思っていたのにできないのがつらいです。

家にずっといてもつまらないから、なにかいい遊びがないか探しています。

学校の大切さを考えています。

六年生になって勉強が難しくなるのに、勉強が進められないのが不安です。自分でできる予習・復習をやっているけれど、限界があります。学校だったら先生に教えてもらえるけれど、今は大変です。

また、給食も当たり前に食べていたけれど、家でお母さんが作らないといけないので、大変なのと、給食はありがたいものだと思いました。



友達と会えないと、さみしいです。はじめは、休みになってラッキーと思っていたけれど、友達になかなか会えなくなって、全然ラッキーじゃないと思いました。友達の大切さをすごく感じています。今はもう、休みを長くしてほしくないと思うようになりました。

勉強づくえの整とんをしています。この時間を利用して、勉強しやすいようにしました。

本だなをきちんと使い、空いた部分に辞書をつめたら、さらに使いやすくなりました。音楽の練習のために借りているバチやそろばんを置く場所を段ボールで作るなど工夫をしています。

学校に行けず、行事などで六年生として先頭に立ってがんばれないまま卒業してしまうかもしれないので、早く学校が始まってほしいです。

田原市は、感染者がいないからなのか、他県から人が来ていると聞きました。この行動によって田原市に感染者が出てしまうのではないかと、とても怖いです。外出したい気持ちはわかりますが、今は、来るのをやめてほしいです。

コロナウイルスで人類が滅亡したらどうしようと思いました。そうしたら、地球はどうなるんだろうと気になりました。また、この状況で、めちゃめちゃでかい地しんが来たらどうなるのかと不安もあります。コロナもあり、地しんでお医者さんもいない状況ができたらと家族もどうなってしまうのだろうと不安です。こういったことにはぜっったいになってほしくないです。

この休みに考えていることは、田原市には感染者が確認されていないけれど、もし自分がかかったらと思うと怖いです。

政府が、もっと早く緊急事態宣言を発令してくれていれば、こんなにも広がらなかったのにとぼくは思いました。他にも、どこかの病院の関係者が宴会をして感染が広がったと聞いて、自分勝手だと思いました。

今は、本をたくさん読んでいます。これからも外出を自粛して、本を読みます。

自分や家族、友達が感染してしまうと思うと、恐怖があります。今、自分にできることは、手洗い、うがい、三密を避けることです。

コロナウイルスのえいきょうで、友達と毎日話していたのができなくなってしまったので、いち早くなくなってほしいです。

緊急登校日に会ったときに、身長が伸びていたり、声がわりが始まっていたりして、その成長におどろきました。料理ができるようになったり、読書で考えを深めたりした人。家での過ごし方を工夫したり、家族の手伝いをしたり…。また、作文からは心の成長を感じることもでき、当たり前にあった日々、何気ない毎日が幸せだったと思える心の豊かさに感動しました。今しばらくの辛抱です。みなさんに会える日を、耐えることで成長したみなさんとの残された時間を全速力で駆け抜けられるよう、先生たちは、伊良湖岬小学校は、待っています。